

## 聖書の言葉

平和を実現する人たちは  
幸いである。  
その人たちは  
神の子と呼ばれる。  
マタイによる福音書5章9節

# シヤロームタイムズ

2002年8月11日(日)発行

宗教法人

野毛山キリストの教会

〒220-0042 横浜市区西区老松町30番地

## 平和聖日

去る八月四日(第一主日)  
野毛山キリストの教会の平和  
聖日として礼拝を捧げました。  
「守り抜こう! 二十一世紀

の子どもたち」と金児栄治牧師の礼拝のメッセージでは、現代の子どもたちの状況を知り、二〇〇〇年前の人権のない時代、特に女性・子どもは数に入らない時代に幼な子を一人の人間と見て、受け入れられた主イエスのお話を通して、私たちがそういう問題に関心を寄せ、子どもたちを守っていかなくてはいけないという思いを新たにしました。また、午後の「平和を語る会」では、「地雷ではなく花をください」の作者 柳瀬房子先生をお招きして、お話をうかがいました。たくさん大切なことを学ばせていただきました。お話の後には、平和ミニコンサートとして歌を歌ったり、聴いたりして過ごし、大人も子どもも、戦争を体験した世代、しない世代、皆一緒に「平和」について考え、キリストによる真の平和を祈る大変よい会となり、感謝いたします。  
(参加者七十二人)

## 柳瀬先生のお話より

「難民」と一言で言うと、単に困難にある人と思いがちですが、政治の体制が変わったために、その国にいと迫害されてしまったり、自由を奪われてしまう恐れがあるために、国を捨てて逃げてくる人たちのことを言います。パスポートもビザも持たないで救いを求めてくる人のために少しでもお手伝いしたくて「難民を助ける会」に入りました。難民のために寄せられた募金をその人たちのためにいかに使っていくか、一過性のものでなく、どうやったら長くその人たちのために役立つかを常に考えながら活動しています。難民キャンプに行った時、はるか遠くから、黒い塊のようなものがやってきましたが、何かと思ったら人間でした。それは、足を切断された人たちが車椅子も杖もなく、這ってくる・・・いざつてくる姿でした。日本だったらそういう姿は絶対見かけないことです。自分たちのために支援する人たちに感謝を表したいという気持ちで来てくれた人たちで、その人たちは対人地雷の被害者であることがわかりました。

地雷というのは、戦争中におきる問題でなく、戦争

が終わって平和になってからおきる問題です。「戦争」と「平和」という言葉は反対語であると考えますが、平和になってから出てくる問題なのです。ラオスやカンボジアでは、第二次世界大戦の時に埋められた地雷でいまだに被害者が出ています。アフガンスタンは世界でも有数の地雷原です。アンゴラという国は日本の国土の三倍ありますが、日本の国土と同じ広さが地雷原です。戦争が終わって、治安が落ち着いたらの自分の国に戻れないという状態です。

昨年、アフガンスタンに行きましたが、地雷原まで行く途中に強盗にあつてしまいい何もかも奪われ、日本人が行つて何か手伝うということとは困難だと思いましたが、海外の支援団体は自分たちの身の安全を保ちながら活動すすめています。昨年九月十一日のテロ事件以降、逆に活動ができるようになってきましたが、ある程度地雷地図ができていたのに、アメリカの空爆が始まったためにその地図が全く役に立たなくなりました。また、さまざまな施設も壊されてしまいい、今、新たにゼロからのスタート、いや、マイナスからのスタートになってしまいました。

### 「地雷」の問題は主に四つあります。

①埋めてあるものをすぐ取り出さなくてはならないということ・・・そうしなければ危険は消えない  
アメリカの国防総省の調査によると、世界中に六〇〇〇万から七〇〇〇万埋められていると言われていますが、正確な数はつきりわからないところどころに地雷の問題の恐ろしさがあります。だいたい取り除くことはできるが、そこで人が生活するためには一〇〇％地雷を取り除かなくてはなりません。

### ②被害者の支援の問題

今、この時、この二〇分の間にも二、三人の人が被害にあつています。その被害者の義手・義足、また、職業訓練などの支援をどうやっていくかという問題です。

### ③回避訓練の問題

地雷原に住んでいる人はテレビ、ラジオなどの情報が何も無いため、どういものが地雷であるかわからないのです。日本の子どもたちが、交通安全教室を受けるのと同じように地雷についての情報を伝えることが重要になっていきます。

また、地雷原に住んでいる人だけでなく、日本やその

他の国にも、地雷の恐ろしさを伝えることも大切な役割です。

### ④除去機材の開発

一部は機械化されていますが、実用的ではありません。全部地雷を除去するには気の遠くなるような一〇〇〇年という年月がかかると言われていましたが、除去はだいぶ進み、カンボジアでは、あと七、八〇年でだいたい取り除けそうです。

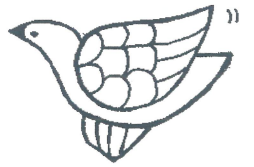
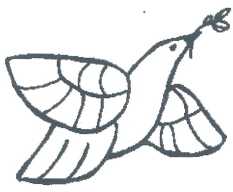
プラスチックのお面をかぶり、  
身体はむねあてでおおいました。  
「いぎぐるしい!おもい!  
目の前がくもる!」  
中に鉄の板がはいっています



これが、実際に埋まっていた本物の地雷です。

### 実際の地雷

三百円から千円くらいで一つの地雷を作ったと言われていますが、取り除くにはその百倍かかると言われています。この地雷に一〇センチくらいの土がかぶつていて、どこにうまっているかわからないために、その地雷を取り除くのは本当に大変な作業です。実際、地雷原で見つけたら、新たに火薬をひいて爆発させています。本来、もとの形で取り出すのは大変だし、輸出になるので持ち帰るのはとても困難なことです。でも日本の皆さんに見せたくて証明書を書いてもらって持ち帰りました。



# シャロームタイムズ

## じぶん レイフ・クリスチャンソン

考えたことがありますか  
じぶんにできることを

目は 世界を しっかりと見ることが出来る

耳は どんなつばやきも ききとる  
ことができる

口は 見たこと きいたことを  
伝えることができる

足は あなたを待つ人のところへ  
連れて行ってくれる

手は こまっている人を たすけることができる

腕は 傷ついた人を ゆったりつむことができる

肩は つかれた人を 休ませることが出来る

頭は じぶんにできることを  
考えつくことができる

心は あいての気持ちをかかんじ取ることが出来る  
考えてみませんか

じぶんにできることを



柳瀬先生からは、考えているだけではだめ。実行しなくては・・・というお話しをいただきましたが、私たちはまず、自分に何が出来るかを考えて自分にできることをやっていくようにしたいと思えます。高校生の「何をしたらいいのですか」という質問に対し、柳瀬先生は「学生は学生の仕事、勉強をすべきです。」とはっきりおっしゃいました。これからさまざまな活動をしていくのには、英語が話せて当たり前だそうです。また、アフガニスタンの問題では、アフガニスタンがどこにあるのか、どんな国と面しているかなどわからない人が多い。中学生は、中学生、高校生は高校生なりに今の勉強を一生懸命やるのが大切というお話をいただきました。また、大人である私たちには、

「何が出来るか」ということは自分で考えるべき問題です。身近な人が困っているのに、「地雷の問題」を真っ先に考えることもできない・・・とはっきりとした提言があり、本当に大切なことをたくさん示唆された思いでした。現場の第一線で活動されておられる柳瀬先生だからこそ、厳しい示唆を与えてくださったのではないかと思います。また、そこに日頃の柳瀬先生の一生懸命活動されている姿、思いを汲み取ることができました。

## 平和ミニコンサート

「イマジン」はジュニア・チャーチの渡邊雄太くんが「かしわ哲さんの訳をもとに自分なりに考えてきました」と自分でつくったプリントを持ってきてくれました。

サルサ・ガムテープの新作「ぼくたちのこたえ」をジュニア・チャーチのメンバー全員で歌いました。

♪ ぼくなら そんなことはしないさ  
わらってゆるしてやるさ  
仕返しなんかしないのさ  
それがぼくたちのこたえ  
ぼくたちのこたえさ



## イマジン ジョン・レノン 曲詞

天国なんてないって思っごらん  
その気になれば簡単さ  
地獄もなくて  
上にたった一つ空が広がっている  
想像してごらん  
みんなが同じ「今日」を生きているんだ  
国境なんてないって思っごらん  
難しくなんてないだろう  
殺したり、殺されたりすることもなくて  
宗教による争いもなくて  
想像してごらん  
みんな平和に暮らしているんだ  
みんな僕のことを夢想家と思うかもしれない  
でも、それは僕だけじゃないんだ  
いつの日か君たちも仲間になってほしい  
そうすれば 世界はひとつになる  
財産なんてないって思っごらん  
僕たちにできるかな  
欲張ったり 餓えたりすることなんかもういらぬ  
みんな兄弟姉妹のようになるんだ  
想像してごらん  
全世界を分かち合うんだって



戦争を知らない若い世代が、しっかりと「自分」を持ち、しっかりと考えた考えで歩いていくのはとても大切だと思えます。毎年必ず歌っている「ヒロシマのある国で」を全員で合唱。  
そして教会学校の先生たちによる「いのちの花」でコンサートは締めくくられました。

57回目の原爆の日を迎えて

広島	この一年に亡くなった人	4977人
	計	226870人
長崎	この一年に亡くなった人	1564人
	計	129193人